Ⅰ　県立病院事業

令和８年度上半期における県立病院事業は、県民の健康保持のため、その多様な要望に応える医療を提供するとともに、県内の医療水準の向上という目標に向け、県の基幹病院として、また、地域の中核病院として期待されている役割を果たすべく鋭意運営に努めてきました。

今回は、令和８年４月１日から令和８年９月 30 日までの令和８年度上半期における県立病院事業の概況、経理の状況及び令和７年度の決算の状況などについてお知らせします。

１　事業の概況

今期の県立病院の利用状況は第１表のとおりであり、前年度同期に比較すると、入院患者では 7,858 人の増、外来患者では 2,408 人の減となっています。

第1表　令和8年度上半期患者利用状況

（単位：人）

区　　分	病　　院　　別				前年度	差引増減
	中央病院	丸亀病院	白鳥病院	計	同　期	(△)
入院患者数	68,201	19,214	14,933	102,348	94,490	7,858
外来患者数	106,876	15,060	30,863	152,799	155,207	△2,408
計	175,077	34,274	45,796	255,147	249,697	5,450

２　経理の状況

令和８年度上半期における収入及び支出の状況は、第２表のとおりです。

第2表　令和8年度病院事業会計経理状況

収益的収入及び支出

（単位：千円、％）

区分	科　　目	予　算　額　A	執 行 済 額　B	比率 B／A
収	病 院 事 業 収 益	31,383,401	16,082,881	51.2
	医　業　収　益	26,217,034	12,418,189	47.4
	医 業 外 収 益	5,032,210	3,661,164	72.8
入	特　別　利　益	134,157	3,528	2.6
支	病 院 事 業 費 用	33,106,346	12,880,139	38.9
	医　業　費　用	31,982,914	12,740,478	39.8
	医 業 外 費 用	1,109,976	124,336	11.2
出	特　別　損　失	13,456	15,325	113.9

資本的収入及び支出

（単位：千円、％）

区分	科目	予算額 A	執行済額 B	比率 B／A
収入	資本的収入	1,990,668	500,712	25.2
	企業債	773,000	0	0
	出資金	798	0	0
	他会計からの長期借入金	67,572	0	0
	補助金	147,875	0	0
	負担金	1,001,423	500,712	50.0
支出	資本的支出	3,068,033	1,095,976	35.7
	建設改良費	999,367	104,333	10.4
	企業債償還金	2,029,456	991,643	48.9
	他会計からの長期借入金返還金	39,210	0	0

３　令和７年度決算の状況

令和７年度における患者数は、入院患者数延 192,820 人、外来患者数延 311,503 人、合計 504,323 人で、前年度と比較すると、14,312 人の減となっています。

収支状況については、総収益289億4,294万円に対して、総費用318億1,376万円で28億7,082万円の純損失が生じました。事業収益については、平均在院日数が短縮したことなどに伴う延べ患者数の減少により、医業収益が減少しましたが、国の補正予算で手当てされた賃上げ・物価上昇に対する支援などにより医業外収益が増加したことから、全体として増加しました。事業費用については、人事委員会勧告などに伴う給与費の増加、腫瘍用薬の使用量増などに伴う材料費の増加、人件費上昇・物価高騰などに伴う委託料の増加のほか、旧津田病院の建物解体撤去費の計上などにより、増加しました。

４　経営方針と主な取組

今後も、人件費や物価の上昇のほか、中央病院の移転新築等に伴う企業債の償還や、中長期的な視点に立った医療器械の更新等による資金需要など、経営を取り巻く環境は厳しい状況が続くことが予想されますが、引き続き、経営改善に取り組み、県民から求められる質の高い医療を安定的に提供できるよう努めてまいります。

令和７年度においては、次のようなことに取り組みました。

(1) 良質な医療サービスの提供

・中央病院において、地域の医療機関訪問や相互の患者紹介等、地域医療連携を強化するなど、医療サービスの向上に取り組んだ

・丸亀病院において、送迎サービス等により、デイケアの充実を図るなど、医療サービスの向上に取り組んだ

・白鳥病院において、地域包括ケア病床の積極的な運用に努める等、地域の特性に応じた医療サービスの提供に取り組んだ

(2) 医療人材の確保・育成

・医師の確保・育成のため、関連大学との連携強化や研修・研究の充実に努めた

・看護師の確保・育成のため、試験時期の前倒し等や、即戦力確保として新たにカムバック採用と職務経験者採用の導入に取り組むとともに、職員のレベルに応じた段階的な研修の実施などに取り組んだ

・勤務環境等の改善・充実のため、医師や看護師の補助者の適正配置を継続するなど、負担軽減に努めた

(3) 感染症・災害等への対応力の強化

・各病院において、感染症対応病床を確保するとともに、訓練や研修を実施することなどにより、感染症への対応力強化に努めた

・各病院において防災訓練を行うとともに、中央病院においてDMAT隊員の育成・研修を行い、丸亀病院においてもDPAT研修等に参加するなど、災害への対応力強化に努めた

(4) 安定的な病院経営の確立

・全体として、材料費や経費の適正化及び節減に努めるとともに、中央病院において、医師の目標管理の徹底や、新たな施設基準の取得などにより、収益の増加を図った

・丸亀病院において、デイケア、訪問看護の更なる充実により、患者数、収益の増加に努めた

・白鳥病院において、病棟構成を見直し、病床稼働率の向上に努めるとともに、看護師を配置換えにより中央病院の救急部門へ重点的に配置し、救急搬送応需件数の増加を図った

・病院事業管理者や各院長等からなる「経営会議」を四半期に１回開催し、経営状況を迅速に把握・分析し、機動的な対応に努めた

・外部の有識者からなる県立病院経営評価委員会を開催し、経営改善の取組みの進捗状況等への外部評価を実施した

第３表　令和７年度県立病院事業損益計算書

（令和７年４月１日から令和８年３月31日まで）

（単位：千円）

１　医業収益			
(1) 入院収益	15,682,800		
(2) 外来収益	7,033,011		
(3) その他医業収益	523,933	23,239,744	
２　医業費用			
(1) 給与費	15,741,478		
(2) 材料費	8,364,847		
(3) 経費	3,856,460		
(4) 減価償却費	1,865,896		
(5) 資産減耗費	45,310		
(6) 研究研修費	121,366		
(7) 長期前払消費税勘定償却	106,243	30,101,600	
医業損失			6,861,856
３　医業外収益			
(1) 受取利息・配当金	26,016		
(2) 他会計補助金	768,617		
(3) 他会計負担金	3,495,629		
(4) 長期前受金戻入	1,011,674		
(5) その他医業外収益	283,248	5,585,184	
４　医業外費用			
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	231,633		
(2) 雑損失	1,225,409	1,457,042	4,128,142
経常損失			2,733,714
５　特別利益			
(1) 過年度損益修正益	21,778		
(2) その他特別利益	96,233	118,011	
６　特別損失			
(1) 過年度損益修正損	7,906		
(2) その他特別損失	247,209	255,115	137,104
当年度純損失			2,870,818
前年度繰越欠損金			5,755,984
当年度未処理欠損金			8,626,801

第４表　令和７年度県立病院事業貸借対照表

（令和８年３月31日現在）

（単位：千円）

資　産　の　部

１ 固定資産				
(1) 有形固定資産				
イ 土地		2,580,612		
ロ 建物	24,092,936			
同減価償却累計額	△13,927,332	10,165,604		
ハ 器械及び備品	14,083,582			
同減価償却累計額	△9,547,323	4,536,259		
ニ リース資産	50,418			
同減価償却累計額	△47,897	2,521		
ホ その他有形固定資産	644,270			
同減価償却累計額	△582,697	61,573		
ヘ 建設仮勘定		2,200		
有形固定資産合計			17,348,769	
(2) 無形固定資産				
イ 電話加入権		5,035		
無形固定資産合計			5,035	
(3) 投資その他の資産				
イ 長期前払消費税		1,186,662		
投資その他の資産合計			1,186,662	
固定資産合計				18,540,466
２ 流動資産				
(1) 現金及び預金			4,097,064	
(2) 未収金		4,021,678		
(3) 貸倒引当金		△32,902	3,988,776	
(4) 貯蔵品			321,449	
(5) 前払費用			1,223	
(6) 前払金			262	
(7) その他流動資産			2,673	
流動資産合計				8,411,447
資産合計				26,951,913

負　債　の　部

3 固定負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	16,506,643		
ロ その他の企業債	243,900		
企業債合計		16,750,543	
(2) 他会計借入金			
イ 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	106,578		
他会計借入金合計		106,578	
(3) 引当金			
イ 退職給付引当金	4,339,251		
引当金合計		4,339,251	
固定負債合計			21,196,372
4 流動負債			
(1) 企業債			
イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,948,786		
ロ その他の企業債	27,100		
企業債合計		1,975,886	
(2) 他会計借入金			
イ 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	33,981		
他会計借入金合計		33,981	
(3) 未払金		2,411,320	
(4) 引当金			
イ 賞与引当金	915,062		
ロ 法定福利費引当金	179,516		
引当金合計		1,094,578	
(5) その他流動負債		107,599	
流動負債合計			5,623,364
5 繰延収益			
(1) 長期前受金		13,828,348	
同収益化累計額		△11,577,331	
繰延収益合計			2,251,017
負債合計			29,070,753

資　本　の　部

6 資本金			6,178,836
7 剰余金			
(1) 資本剰余金			
イ 受贈財産評価額	20,600		
ロ 補助金	5,250		
ハ その他資本剰余金	303,276		
資本剰余金合計		329,126	
(2) 利益剰余金			
イ 当年度未処分利益剰余金	△8,626,802		
利益剰余金合計		△8,626,802	
剰余金合計			△8,297,676
資本合計			△2,118,840
負債資本合計			26,951,913